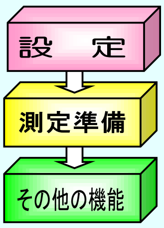
KFD50（斜角探傷 70度）

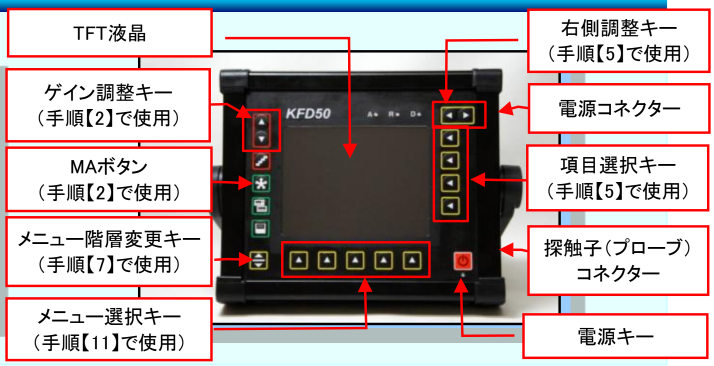
NDT Mart
NDTマート株式会社

製品案内　超音波探傷器　簡易取扱説明書　斜角探傷 入射点･測定範囲･屈折角の設定方法

1 概要







2 設定　（メニュー構成）※測定前に確認してください

：重要度：高
：重要度：低

1

＜メニュー：第1階層＞

基本		送信部		受信部		ゲート (a)		ゲート (b)	
測定範囲	250.0 mm	ダンピング	低	dBステップ	20.0 dB	ゲート評価	正	ゲート評価	オフ
音速	3230 m/s	送信出力	高	リジェクト	0%	a起点	160.00mm	b起点	80.00mm
ディレイ	0.00 uS	二探触子	オフ	受信周波数	2.0 – 20	a幅	20.00mm	b幅	50.00mm
0点調整	0.000 uS	AGC	80%	波形表示	全波	a高さ	10%	b高さ	10%

＜メニュー：第2階層＞

校正		JDAC		斜角		保存		データ	
基準路程1	100.00 mm	区分線	H	屈折角	0.0	保存番号	1	探傷情報	オフ
基準路程2	200.00 mm	DAC	オフ	入射点	0.00 ㎜	呼出	オフ	情報表示	オフ
a起点	160.00mm	DACエコ	0	スキップ	0	保存	オフ	保存情報	オフ
校正	オフ	a起点	160.00mm	板厚	10.00mm	削除	オフ	設定一覧	オフ
		感度調整	0.0 dB	外径	平面	全削除	オフ		
		区分幅	6.0 dB						

＜メニュー：第3階層＞

設定1		表示値		LCD		設定2		設定3	
ビーム路程	Jフランク	表示位置 1	Sa	強調表示	オフ	言語	日本語	評価モード	JISDAC
測定値表示	Sa	表示位置 2	Ha%	表示色	1	単位	㎜	スクウエア	オフ
拡大ゲート	A	表示位置 3	Sb	ライト	0	ブザー	オフ		
Aスコープ	MA表示	表示位置 4	Hb%	グリッド	0	日付			
				スケール	測定値	時間			

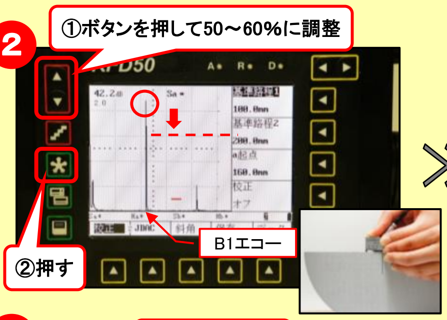
KFD50（斜角探傷 70度）

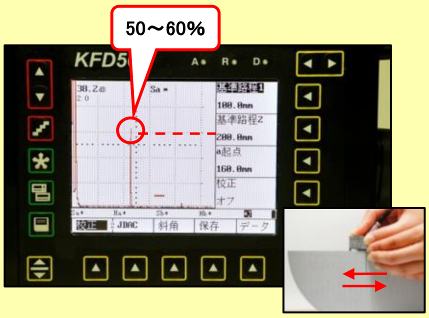
製品案内　超音波探傷器 簡易取扱説明書　斜角探傷 入射点・測定範囲・屈折角の設定方法

3 測定準備 （入射点の測定・測定範囲の調整・STB屈折角の測定）

入射点の測定

2

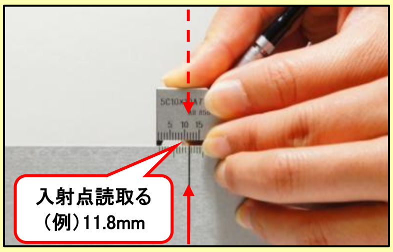




STB-A1（R100部）に接触媒質（マシン油）を少量塗布し、探触子（プローブ）を接触させる。
①左上の「 」キーを押し、B1エコーを50～60%の高さに調整する。
②「 」キーを押しMA表示に切り替える。首振り走査・前後走査をし、エコー高さが最大になる場所を探す。

3



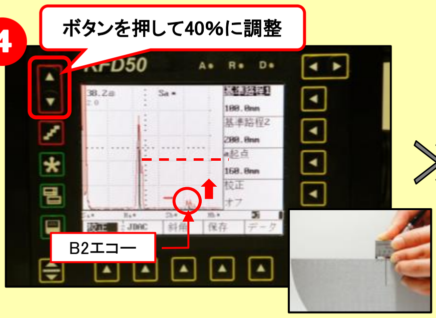


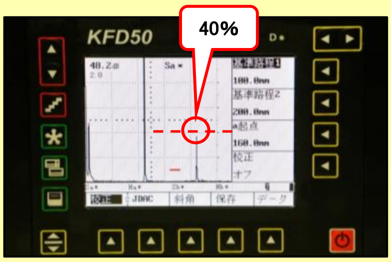
B1エコー高さが最大になる位置で探触子（プローブ）を止める。
入射点を読取る（R100の中心溝と合う位置）。（例）11.8mm

※入射点は0.5mm単位（可能であれば0.1mm単位）で読取る。

測定範囲の調整　＜ゲイン調整＞

4





左上の「 」キーを押し、B2エコーを40%の高さに調整する。

測定範囲の調整　＜校正＞

5

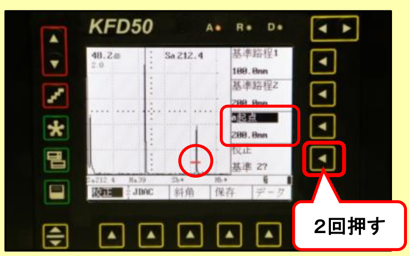




①「校正 」キーをを2回押す。
②校正項目に「基準1？」と表示されている事を確認し、「 」キーでゲートをB1エコーへ移動させる。

6





①「校正 」キーをを2回押す。
②校正項目に「基準2？」と表示されている事を確認し、「 」キーでゲートをB2エコーへ移動させる。

「校正 」キーを2回押す。
校正項目に「オフ」の文字が表示され、測定範囲の調整が完了する。

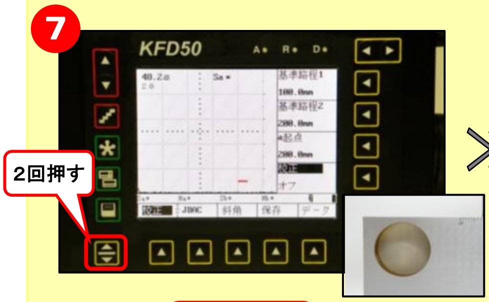
KFD50（斜角探傷 70度）

製品案内　超音波探傷器 簡易取扱説明書　斜角探傷 入射点・測定範囲・屈折角の設定方法

3 測定準備 （入射点の測定・測定範囲の調整・STB屈折角の測定）

STB屈折角の測定

7



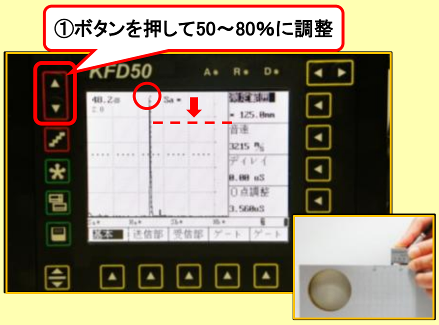


STB-A1試験片の向きを変える。

「メニュー階層変更」キーを2回押し、基本メニューへ切り替える。
「◀▶」キーで測定範囲を125.0mmに調整する。
※数値入力の微調整については4.その他の機能を参照。

8

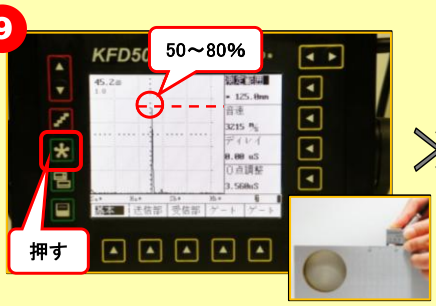




STB-A1試験片の70°の刻印近辺に接触媒質（マシン油）を少量塗布し探触子（プローブ）を接触させる。

左上の「▲▼」キーを押しB1エコーを50～80%の高さに調整する。

9





「✱」キーを押し、MA表示に切り替える。

10





首振り走査・前後走査する。
B1エコーが最大になる位置で探触子（プローブ）を止める。
屈折角を読取る（入射点と合う位置）。

（例）70．2°

KFD50（斜角探傷 70度）

NDT Mart
NDTマート株式会社

製品案内　超音波探傷器 簡易取扱説明書　斜角探傷 入射点･測定範囲･屈折角の設定方法

3 測定準備 （入射点の測定･測定範囲の調整･STB屈折角の測定）

斜角情報入力

11

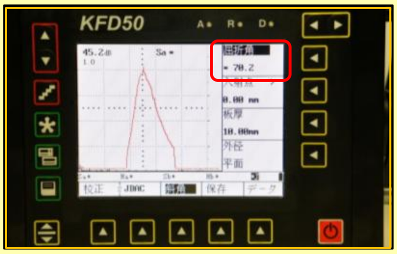




「メニュー階層変更」キーを1回押し、斜角メニューへ切り替える。

12



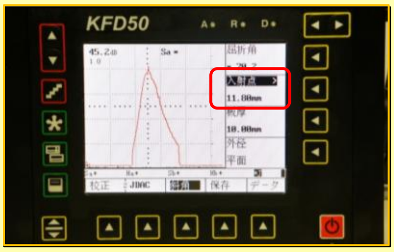


項目選択キーの「屈折角 ◀」キーを1回押す。事前に読み取ってある屈折角の値を「◀▶」キーで入力する。

（例）70．2

13





①項目選択キーの「入射点 ◀」キーを1回押す。②事前に読み取ってある入射点の値を「◀▶」キーで入力する。

（例）11．80mm

KFD50（斜角探傷 70度）

4 その他の機能

数値入力の調整

メニュー	基本	ゲート	校正	斜角
項目	測定範囲	a起点	基準路程 1	屈折角
	音速	a幅	基準路程 2	板厚
	ディレイ	b幅		外径

一部のメニュー項目については、「◀」キーで粗調整と微調整のいずれかを選択することができます。
微調整を選択すると、設定値の前に＊（アスタリスク）マークが表示されます。